

児玉暁洋選集 全12巻

特価予約受付中

(2017年1月～2018年12月)

特色

▽初期の貴重な論説から代表的な講話録まで、著者の求道における重要な四つのテーマ「念仏の感覚」「念仏の思想」「念仏者の生活」「親鸞聖人に遇う」をもとに厳選した、七十年に及ぶ歩みの集大成。
▽第一・二巻は青年時代から一九八〇年以前のもので、第三巻から第五巻は一九八〇年以降のものを中心に、第六・七巻は一九九〇年代から最新成果までを収載。
▽第八～十二巻は、約二十年にわたって綿密に説かれた「歎異抄」の講話を中心に収載する。

価格

刊行委員会 特別割引セット価格(全12巻) 四〇、〇〇〇円＋税

※書籍代振込手数料・荷送料はサービス。

※特価予約は、専用注文書でのお申込みとなります。下記までお問い合わせください。
※定価は、各巻四、〇〇〇円＋税(分売可)。

体裁

A5判・上製貼函入・各巻平均四五〇頁

配本

第一・二巻 (二〇一七年十月予定)	第三・四巻 (二〇一八年三月予定)
第五・六巻 (二〇一八年八月予定)	第七・八巻 (二〇一九年一月予定)
第九・十巻 (二〇一九年六月予定)	第十一・十二巻 (二〇一九年十一月予定)

児玉暁洋選集

全12巻

親鸞の思想が
今よみがえる

法藏館

[連絡先] 児玉暁洋選集刊行委員会事務局

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 法藏館内 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458

<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp

刊行のことば

児玉曉洋先生のこれまでの生涯は、「教えからの呼びかけと状況からの求めとに同時に応答すること、その呼びかけと求めとが一点に相い合う焦点、そこに私は生き、そこで私の『いのち』は燃える」(『念仏の感覚』)というご自身の言葉に尽くされています。

先生はいま八十五歳です。十七歳で暁島敏先生のもとで学びを始められ、七十年になる

うとしています。お身体は寄る年波のごとくありますが、願いのいのちは衰えることはありません。この間に著わされた論説や刊行された講話などは、千を越えております。

選集編纂は今しかないとご相談申しあげたところ、「すべてお任せする。ただ、「念仏の感覚」「念仏の思想」「念仏者の生活」「親鸞聖人に遇う」という四つの柱で編集してほしい」とのことでした。

また、先生はつねづね、「僕の話は、僧伽

の中で話したものだから、僧伽の中からの本にしてほしい」と語っておられます。多くの著述はすべて呼応のなから生まれてきたのです。

この度、その中から精選して選集を刊行することになりました。先生の言葉が現代を生きた人たち、未来の人たちの生きる糧となることを願います。

刊行委員会代表 中川皓三郎

推薦のことば

聞法求道の師

前真宗大谷派宗務総長

里雄康意

児玉先生は、「私たちは親鸞聖人という名において、本当に尊むべき人、本当に信頼できる人に出遇う。現代のような信頼するものが何一つとして見えない、考えられない、あつちでもこつちでも嘘を言う時代。そういう中であつて、人間の苦しみや悩みを決してごまかすことなく真実に生きられた親鸞聖人に遇うことができるというのは本当に有り難いことです。この現代社会を見れば見るほど、本当に尊敬すべきものが、信頼すべきものが何もないようなその中に、我々に親鸞聖人という人が与えられているということはとても素晴らしいことです」と述べられています。

親鸞聖人と共にある生活、聖人が明らかにしてくださった本願念仏の中にある生活の尊さ、かけがえのなさを、全生活あげて伝えてくださる先生の姿に、私も一人ひとりが聞法求道に生きることの一大事が教えられるのであります。

児玉曉洋先生との出会い

大谷大学学長

木越 康

児玉先生との出会いは、学生時代に講義を受講したことや、ご著書『念仏の思想』を通してはじまりましたが、最も印象に残る出会いはドイツでの学会の帰りに寺川俊昭先生などと共にアウシュビッツの強制収容所を訪ねた時のことでした。

虐殺の地での視察を終え、先生はずっと黙ってうつむいておられました。街に戻り、遅い夕食のためにレストランに入っても、先生は一言も話されませんでした。やがて食事が運ばれてきた時、先生は突然席を立ち、雨降る中を一人で飛び出していきました。はじめての街。帰路がわかるはずもないのに飛び出す先生と、慌てて追いかける宮下晴輝先生。心の中で何が起ったのかはお話くださいませんでした。そのご様子が、先生の真摯な学びを象徴するのだと思います。思索は机上ではなく、常に生活の中になされるのだと教えていただきました。

この度の「選集」も、念仏への深い思索が生活にまでなつて聖人と出会うとされる先生のお姿を示すものと拝察いたします。改めて、学ばせていただきたいと思ひます。

時代を先見した著作群

真宗大谷派教学研究所所長

安富信哉

生の「独立者の共同体——真宗大谷派教団の体質変革の原点を求めて——」(一九七二)という論文に接し、東西の諸思想を横断して仏教・真宗を論ずる希有な教学者が出現したと強く印象づけられました。

が、それだけではありません。先生は、暁島敏先生の門下の方々、大谷専修学院の職員や学生の方々と、まさに丁々発止の白熱した対論を通して、仏教思想そして親鸞聖人の教学のダイナミズムを教えてくださいました。私もその恩恵を蒙った一人です。

先生のご論稿を読み返すごとに、私は、真宗仏教の普遍性を開陳してくださったその先見性に瞠目します。この度、児玉曉洋先生の選集が出版されるとお聞きし、先生の一連の思索に直参できることを心よりありがたく思っています。

各巻の主な収載内容

第一巻

『いのち』を喚ぶ声——親鸞の宗教——
『いのち』を喚ぶ声／如是我聞の歩み／師への応答／はじめのお母さん

第二巻

念仏が開く歴史と社会

念仏の中より開かれる歴史と社会／念仏の感覚／生きる感覚——森有正の主題によるバリエーション——／独立者の共同体／浄土を映すもの

第三巻

新しく生まれる『いのち』
——浄土の人民——

念仏の思想／新しく生まれる『いのち』／現代との対話——仏教徒として生きる——／道を求めて——二河の譬喩に学ぶ——

第四巻

浄土に開かれて生きる

人間と神々の束縛からの解放／ただ生きたいと欲する心／真宗解放論に向けて／真宗・大谷派の戦争責任／現代の聖典——観経序分に学ぶ——

第五巻

南無阿弥陀仏と言う信心

清沢満之に学ぶ／人と言葉／同朋社会の実現に向かつて

第六巻

願生浄土の仏道

浄土・僧伽・教団——願生浄土の仏道——／願生浄土と戦争放棄——暁島敏の戦争責任と聖徳太子の再発見——／如来様からのおもてなし／念仏者・喬子に込める

第七巻

あなたは日本国を
どんな国にしたいのか

群萌の建国／主権的国民国家を超えて／生きて罪を償う——井上嘉浩死刑囚と共に歩む——

第八巻

正信偈響流・歎異抄に聞く(1)

正信偈響流／歎異抄に聞く(前序／第五章)

第九～十一巻

歎異抄に聞く(2)～(4)

歎異抄に聞く(第六章／第十五章)

第十二巻

歎異抄に聞く(5)

歎異抄に聞く(第十六章／総結文)／年譜・著作一覧